

## ほーほーどり

### 我孫子野鳥を守る会

No. 160  
2001年  
5～6月号

### ◇行事予定

#### 第12回バードウィーク手賀沼探鳥会

「Enjoy手賀沼!」(同実行委員会主催)のイベントの一つとして、山階鳥研、鳥の博物館との共催で実施します。当会は例年通り探鳥会の実務面を担当します。

期日 5月13日(日)

集合 水の館 芝生広場 午前8時30分

(芝生広場に会旗を立てます)

○探鳥会(受付は「鳥博」が担当) 雨天中止  
色分けした班別に、親水広場から鳥の博物館前の道路を東進、途中右折して遊歩道に入り、沼の鳥を見ながら出発点に戻ってきます。鳥合わせの後、12時頃終了の予定です。多くの市民が来られると思いますので、多数の会員のお手伝いをお願いします。

雨天の場合(問合せ:「鳥博」へ7時30分以後  
0471-85-2212)

○鳥の博物館見学会(入場無料)とします。  
館内の説明等を会員の皆さんにお願いします。

◎駐車場 当日は親水広場の駐車場は使えません。「鳥博」、山階鳥研、又は市役所の駐車場をご利用下さい。

担当 木村会長(実行委員長)以下全幹事

問合せ 島崎純造 Tel&Fax 0471-87-2222

#### 幹事会

期日 5月13日(日) 午後1時45分

集合 湖北台近隣センター 大会議室(2F)

Tel 0471-87-1122

議題 下期行事計画、ピオトープ及び4地域の調査報告、その他(各自持ち寄って下さい)

#### 小見川・浮島探鳥会

期日 5月27日(日) 雨天中止

集合 我孫子市役所前 午前8時

持参 観察用具、昼食、飲料(途中購入可)、雨具  
案内 当地は日本で数少ないオオセッカの繁殖地です。コヨシキリ、オオヨシキリ、セッカ、コジュリンなど葦原の鳥達を堪能出来ます。途中、清久島でサギのコロニー観察も必見です。

交通 自家用車分乗で現地へ行きます。分乗者は一人1,000円を運転者にお渡しください。申込の際、自家用車提供可能な方は、その旨ご連絡下さい。

申込 定例探鳥会で担当者に直接申込みか、葉書またはFAXで下記へ申込み下さい。

間野吉幸

T270-1154 我孫子市白山3-8-16-104

FAX 0471-85-0538

担当 間野、田丸、大久保

#### 八千穂高原探鳥会

期日 6月2日(土)～3日(日)

集合 6月2日(土)

我孫子中央公民館駐車場 午前8時

(中央公民館は手賀沼公園の東隣にあります)

交通 今井観光のマイクロバス

費用 21,000円程度(バス代・保険代・高速代・雑費含む) 集合時にこの額で集金し、3日に精算します。

宿舎 八千穂山荘(0267-88-3533)

案内 オオルリなどのヒタキ科の仲間、カッコウ科、フクロウの仲間の声と期待する鳥の多いところ。宿舎のご主人との鳥談義も楽しさいっぱい。さらに、宿舎近くにある自然園の植物をじっくり観察してみるのも楽しさのひとつです。

申込 飯泉まで (0471-75-6017) 定員 16 名  
お申込後、参加者のみなさんに詳細案内を  
お送りします。

担当 飯泉 仁・久美子・染谷迪夫、首藤佑吉

## 手賀沼探鳥会とカウント

期日 6月10(日) 雨天中止  
集合 我孫子市役所前 午前9時  
案内 オオヨシキリの声が盛んな時期となりました。ふあふあと翔ぶヨシゴイの姿に接することも出来るでしょう。また、サシバに会えるかも！請うご期待。

担当 大久保、中野、向井、

## 岡発戸谷津田観察記録について

染谷迪夫

岡発戸の谷津田は、我孫子市では貴重な谷津田の景観として、現在まで保たれてきています。ところが、開発されるのではないかと噂が、平成9～10年始めに流れました。貴重な谷津田の景観が失われるのではと考え、その前に動植物の観察の記録を残しておこうと、幹事会で決定され平成10年4月より観察を始め、記録を蓄積して来て現在に至っています。平成13年3月で丸3年になりました。

今では、谷津田の重要性を認識し始めた方が増えて、岡発戸の谷津田の保護の為に、組織や団体がつくられていると聞いています。既に3年間、記録が蓄積され、当面の目的は達成されたのではないかと考えられます。

我孫子野鳥を守る会として記録を取ることは、もうよいのではないかと判断し幹事会で決まりましたので、平成13年3月18日をもって終了致しました。3年もの長い間、観察記録に携わって来た方々には、御礼申し上げます。

今後の詳しい調査や観察は、関心のある他団体や専門家にお任せしたいと思います。ちなみに平成12年10月に調査会社から、我孫子市谷津、水田等自然観察調査の内、鳥類調査の依頼があり、我が会が委託をした4ヶ所のひとつに岡発戸谷津田が入っています。このように、他の団体も関心を持ち始めています。

但し、谷津田の自然を愛し鳥や動植物の観察は、続けて行きたいと考えていますので、興味なり関心の有る方はご参加下さい。

観察日は下記の通りです。

※ 毎月第3日曜日(雨天中止)

※ 集合 我孫子市役所前 午前9時

又は岡発戸谷津田のカワセミ池

3年間の観察記録に関しましては、まとまり次第会員の方々にご報告出来るようにしたいと思っています。

担当 向井章雄、染谷迪夫

## 山階芳麿賞授賞式と記念講演会

### 海鳥、環境そして人間

・・・海鳥からみる地球環境の将来・・・

国内で鳥類の研究と保護に顕著な功績があり、我国の鳥学の発展に貢献された方に贈られる山階芳麿賞の平成13年度(第10回)の受賞者に小城春雄博士(北海道大学大学院水産科学研究科教授)が決定いたしました。小城博士はこれまで解明が困難な外洋性の海鳥類の生態研究を手がけ、現在では広い視野から魚場の乱獲やプラスチックによる海洋汚染の問題にも取り組んでおられます。

記念講演では私たちが普段知ることの出来ない海洋環境の現状についてお話しいたします。

皆様のご参加をお待ちしております。

日時 6月1日(金) 14:00～17:00(開場13:00)  
場所 国立オリンピック記念青少年総合センター  
417号室

渋谷区代々木神園町3-1(センター棟セミナーホール)

○ 受賞講演「海鳥、環境そして人間—海鳥からみる地球環境の将来—

### 第10回受賞者小城春雄博士

○ ビデオ上映 NHK「サイエンスアイ」(1996、7、6放送)より

### 「プラスチックによる海洋汚染」(30分)

参加費 500円(資料代として当日会場でお支払い下さい)。

申込み方法 5月21日(必着)迄に往復葉書で「山階賞講演会参加希望」氏名、郵便番号、住所をご記入のうえ下記までお申込下さい。定員250名です。

応募多数の場合は抽選になります。

申込み・お問合せ先：山階鳥類研究所広報室(担当 杉森・小林)

〒270-1145 我孫子市高野山115

TEL0471-82-1101

主催 財団法人山階鳥類研究所

共催 朝日新聞社 後援 我孫子市

# ○定期総会報告

事務局

4月8日(日)平成13年度定期総会が市民会館で開催されました。

平成12年度事業活動報告案、同決算案、会計監査報告、平成13年度事業計画案及び予算案が審議され、何れも原案通り承認及び決議されました。本年は役員改選の年ですが、会長はじめ全員が留任となりました。なお、幹事に新たに宮下三禮さん(柏市)が指名されました。詳しい内容については事務局までお問合せください。

(471-87-2222 島崎純造)

(471-87-2223

## 平成12年度決算及び13年度予算概略

	決算	予算
収入の部		
会費	293,500	300,000
市補助金	190,000	190,000
行事収入	981,059	1,300,000
受取利息	2,387	
寄付金	29,468	
謝礼	43,500	
ビオトープ受託	231,000	126,000
我孫子市調査受託	63,000	126,000
前年度繰越金	253,170	269,266
合計	2,087,084	2,311,266
支出の部		
野鳥の部	1,180,223	1,550,000
環境保全の部	0	100,000
啓蒙情宣の部	293,170	310,000
庶務の部	144,425	173,000
予備費	200,000	178,266
合計	1,817,818	2,311,266

注) 創立30周年記念事業引当積立金として千葉銀行に 2,343,401円積立しています。

<出席者>西巻 実、鳥越 治、大沼 勲、諏訪哲夫、西城 猛、畑 幸正、川田光男、谷山晴男、榎本 右、佐々木 隆、村井 治、飯泉 仁・久美子、戸塚 道、染谷迪夫、赤尾 完、橋本 清、野口幸子、宮下三禮、飯島 博、中野久夫、松本庸夫、向井章雄、首藤佑吉、小林寿美子、鈴木初子、田中 斉、田丸喜昭、猪爪敏夫、木村 稔、島崎純造、松田幸保、梅村康之 計33名  
総会終了後、会員が千葉テレビの番組に出演したビデオや西城さん、木村さん撮影のスライドの映写会を行いました。

## 「BS列車どーも君号が行く！」のロケ

1月17日(水) 島崎純造

JR成田線開通100周年にちなみ、NHK衛星第2テレビの「BS列車どーも君号」が我孫子〜成田〜銚子を走ることになり、沿線の風物を紹介するので、当会の手賀沼探鳥の様子を撮影したいとの申入れがあり協力したものです。

この日は快晴で、染入橋付近は湖面が半ば近くまで結氷している寒気厳しい朝でしたが、カモは極めて多く絶好の探鳥日和でした。しかし探鳥会のシーンは編集でカットされてしまい、殆ど放送されませんでした。残念!(ご苦勞様でした)

<参加者>赤尾 完、西巻 実、田丸喜昭、梅村康之、宮下三禮、野口幸子、中野久夫、島崎純造  
以上8名

## ○沼南町市民探鳥会

1月20日(土) 島崎純造

沼南町中央公民館主催の町民探鳥会で、毎年当会が指導にあっている。本年も町民約20名がバスで親水広場に到着、寒気が厳しい日だったが遊歩道を沼や林の鳥を見ながら1時間ほど歩いた。終了後、町民は鳥の博物館見学へ向った。

<参加者>向井章雄、染谷迪夫、首藤佑吉、志賀鉄雄、大久保陸夫、赤尾 完、渡辺正広、島崎純造  
以上8名

<認めた鳥>カイツブリ、カワウ、コブハクチョウ、マガモ、カルガモ、コガモ、オナガガモ、ハシビロガモ、バン、オオバン、ユリカモメ、カワセミ、コゲラ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、シジュウカラ、アオジ、スズメ、ムクドリ、ハシボソガラス  
以上20種

## ○手賀沼探鳥会とカウント

調査日時 2,001年2月11日 晴 8度

実施時間 9:25~12:00

<カウント班>飯泉 仁・久美子 計2名  
<探鳥班>大沼 勲、西城 猛、高橋敏彦、梅村康之、佐々木 隆、赤尾 完、榎本 右、諏訪哲夫、大久保陸夫、間野吉幸、岡本信夫、廣瀬美恵子、飯島 博、宇田川孝二、猪爪敏夫、黒田 力、小林寿美子、宮下三禮、村井 治・登代、鈴木かね子、向井章雄、染谷迪夫、川田光男、島崎純造、松田幸保、中野久夫、谷山晴男、西巻 実、橋本 清、田村和平、中村正夫、田丸喜昭、小玉文夫・信子、野口幸子、坂巻宗

男、武藤康之、田中 功、木村 稔、関口喜三郎、阿部隆次、渡辺正広、合計43名			
鳥 種	上沼	下沼	計
カイツブリ	7	6	13
ハジロカイツブリ	1		1
カンムリカイツブリ	5		5
カワウ	43	20	63
ダイサギ	4	2	6
コサギ	1	1	2
アオサギ	15	4	19
コブハクチョウ	1	4	5
マガモ	8	413	421
カルガモ	397	190	587
コガモ	130	431	561
トモエガモ		10	10
オカヨシガモ	34	2	36
ヒドリガモ	4		4
オナガガモ	2	263	265
ハシビロガモ		52	52
ホシハジロ		100	100
ホオジロガモ		1	1
ミコアイサ	7	20	27
バン	1		1
オオバン	38	52	90
ユリカモメ	18	44	62
セグロカモメ	6		6
計23種	722	1,615	2,337

その他<認めた鳥>チョウゲンボウ、★キジ、タシギ、キジバト、カワセミ、コゲラ、ヒバリ、ハクセキレイ、タヒバリ、ビンズイ、ヒヨドリ、モズ、ジョウビタキ、シロハラ、ツグミ、ウグイス、シジュウカラ、メジロ、ホオジロ、カシラダカ、★アオジ、オオジュリン、カワラヒワ、スズメ、ムクドリ、★オナガ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、計28種合計51種

★はカウント班のみ

外来種 カナダガン3、アヒル3アイガモ3、シナガチョ2

## ○21世紀最初の山中湖探鳥会に参加して

宮下三禮

2月24日(土)朝、予報通り小雨でした。途中SAで昼食をとり山中湖に到着、霧で視界が悪く、雑木林には雪がありました。夏の山中湖しか知らない私はその幻想的な風景にうっとりしていました。バスの中から湖を見ると近くに、ヨシガモ、マガモ、カナダガン、コハクチョウ等が泳いでいました。林の中は雪が深かったので、行ける

所までバスでと別荘地近くまで入り、そこから歩いて鳥の集まる水場へ下りました。深い雪の中、前の人の足跡を伝わって下りるので、大変でした。

最初はカラ類の声だけでした。しばらくすると、ヤマガラが降りて木にとまり、シジュウカラ、ヒガラ、コガラと集まり、近くに雪の上を歩くアトリの姿を見ることが出来ました。カメラマンのメッカということで、やはり慣れていて、手のひらのクッキーを次々とついばんでくれました。小さな細い足の「コチョコチョ！」とくすぐったい感触は忘れられない思い出になりました。霧が晴れないので、早めにペンションに入り、数人で付近を歩きました。アカハラ2羽、林の中で追っかけっこをしていました。翌朝は素晴らしい富士山を見ながら朝食前に湖畔まで散歩。湖岸には、カワアイサの雄、ホオジロガモのつがい等、初めてのカモ達にも出会いました。コハクチョの親子の仲むつまじさ、道路脇の木に飛び交う、エナガの群にシジュウカラ、コゲラが混じって賑やかでした。

朝食をとり出発、レンジャクを求めてやどり木をあちこちと歩きましたが、今回は顔も声も駄目でした。早すぎたのでしょうか、やどり木の実はまだ沢山残っているのに。

でも又、次の機会が楽しみになりました。幹事の皆様、お世話になり有難うございました。<参加者>飯泉 仁、小林秀美、小玉文夫、島崎純造、首藤佑吉、諏訪哲夫、染谷迪夫、田丸メリー、中野久夫、西巻 実、橋本 清、間野古幸、宮下三禮、向井章雄、山本貞江、正木多美代、猪爪敏夫、梅村康之 以上18名  
<認めた鳥>コブハクチョウ、コハクチョウ、マガモ、カルガモ、コガモ、ヨシガモ、ヒドリガモ、ハシビロガモ、ホシハジロ、キンクロハジロ、ホオジロガモ、ミコアイサ、カワアイサ、トビ、オオバン、キジバト、アオゲラ、アカゲラ、コゲラ、キセキレイ、ハクセキレイ、アカハラ、ツグミ、エナガ、コガラ、ヒガラ、ヤマガラ、シジュウカラ、ゴジュウカラ、ホオジロ、カシラダカ、アトリ、カワラヒワ、ウソ、イカル、スズメ、ムクドリ、カケス、ハシボソガラス、ハシブトガラス以上40種 外来種カナダガン、カワラバト

## ○エンジョイ・ウィークエンド探鳥会

3月10日(土) 晴 10:00~12:00 西巻 実

少年自然の家の行く探鳥会を指導しました。参加者はお年寄りから子供まで約30名。ほとんどが鳥見は初めてのようです。心配した風もなく良

い天気。

手賀の丘公園のジャブジャブ池の周りからはじめました。ここでマヒワ、シメ、などが出ました。丘を下ったところの池ではカワセミを期待したのですが、だめでした。カメラが2、3台池の中にセットされ、容器に入れた魚も置かれているようですが、それらが邪魔なのか現れません。

手賀沼のカモはごく少なくなっていました、光線状態もよく、風もないためマガモの頭が緑に輝いてとてもきれいです。ヨシガモもいて、十分満足してもらいました。

鳥合せをやってみたら39種で、初心者対象の探鳥会としてはよく出たと思います。

なおこの探鳥会を千葉テレビが取材しました。千葉県教育放送番組「教育ホットライン」のための取材です。放送予定は4月8日と4月11日。  
 <認めた鳥>カイツブリ、カンムリカイツブリ、カワウ、ダイサギ、アオサギ、コブハクチョウ、マガモ、カルガモ、コガモ、ヨシガモ、オナガガモ、ハシビロガモ、ホシハジロ、ミコアイサ、チョウゲンボウ、バン、オオバン、タシギ、ユリカモメ、セグロカモメ、キジバト、コゲラ、ヒバリ、ハクセキレイ、タヒバリ、ヒヨドリ、モズ、ツグミ、シロハラ、シジュウカラ、メジロ、アオジ、オオジュリン、カワラヒワ、マヒワ、シメ、スズメ、ハシボソガラス、ハシブトガラス 39種  
 <当会参加者> 首藤佑吉、中野久夫、向井章雄、田丸喜昭、猪爪敏夫、染谷迪夫、佐々木 隆、西巻 実 計8名。

## ○手賀沼探鳥会とカウント

調査日時 2,001年3月11日 晴 北西の風5m 実施時間 9:25~12:00
<カウント班> 飯泉 仁・久美子、日比野 岳 藤田陽子 計4名
<探鳥班> 染谷迪夫、田中 斉、榎本 右、 梅村康之、佐々木 隆、武藤康之、猪爪敏夫、 大沼 勲、小林寿美子、鈴木初子、諏訪哲夫、 菅原雄貴、中村吉男、野口幸子、宮下三禮、 大久保陸夫、中野久夫、間野吉幸、鳥越 治、 向井章雄、村井 治、赤尾 完、小島経一、 田中 功、西巻 実、谷山晴男、川田光男、 飯島 博、宇田川孝二、小倉正己・希代子、 黒田 力、廣瀬美恵子、下村仁美、田丸喜昭・ メリールイズ、島崎純造、首藤佑吉、 計38名

鳥 種	上沼	下沼	計
カイツブリ	3	2	5
カンムリカイツブリ	1	2	3
カワウ	45	45	90
ダイサギ	8		8
コサギ	8	2	10
アオサギ	18	1	19
コブハクチョウ		6	6
マガモ	10	283	293
カルガモ	124	65	189
コガモ	136	32	168
ヨシガモ		2	2
オカヨシガモ	106		106
ヒドリガモ		1	1
オナガガモ		22	22
ハシビロガモ		23	23
ホシハジロ		63	63
ミコアイサ		4	4
バン	1		1
オオバン	66	31	97
ユリカモメ	38	120	158
セグロカモメ	9	1	10
計21種	573	705	1,278

その他<認めた鳥>オオタカ、★キジ、キジバト、カワセミ、コゲラ、ヒバリ、ハクセキレイ、ビンズイ、タヒバリ、ヒヨドリ、★モズ、ルリビタキ、ジョウビタキ、シロハラ、ツグミ、ウグイス、シジュウカラ、メジロ、ホオジロ、★カシラダカ、アオジ、オオジュリン、カワラヒワ、マヒワ、スズメ、ムクドリ、★オナガ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、計29種 合計50種  
 ★はカウント班のみ  
 外来種 カナダガン、カワラバト

## 創立30周年記念行事小委員会からのお知らせ

30周年記念行事に対するご意見として、すでに会報でお知らせしていますように、これまで数多くの事項が提案されましたが、1月14日の幹事会で、下記の項目を選び、今後さらに検討を続けることになりました。

- 1) 「ほーほーどり」のバックナンバーから記事を抜粋編集し、会の発足当初からの歴史を振り返る。
- 2) 手賀沼の鳥Ⅱの刊行。あわせて、手賀沼周辺の鳥の観察データ集をCDで出版する(印刷物より経費が少ない)ことを検討する。
- 3) 30周年記念講演会とパーティー及び発足以来、会の運営や発展のために尽した方の表彰。

4) 創立30周年記念バッジ、グッズ、Tシャツ、トレーナーなどを制作と会員への配布(有料/無償)

5) 会の名称を「我孫子野鳥を守る会」から、発展的広域的に「手賀沼野鳥を守る会」に変ずる。(ただし、これには反対意見も多かった)

加えて、行事予定の一環として、創立30周年を記念した探鳥旅行を計画する。

これらの選ばれた検討項目について、さらに会員の皆様からのご意見をお待ちします。

宛先: 〒270-0143

流山市向小金1-378 南柏パークハウスA-607

Email: [yoshitcs@mb.infoweb.ne.jp](mailto:yoshitcs@mb.infoweb.ne.jp)

田丸喜昭宛

## あなたは 我孫子野鳥を守る会の 何年生?

田丸喜昭

(平成13年3月現在の会員と家族会員で昭和56年10月の探鳥会まで初めて参加した日と場所)

1972(昭和47年)10月8日 手賀沼 中尾ま子、畑幸正、高橋敏夫

11月12日 手賀沼 松田幸保

1973(昭和48年)2月11日 手賀沼 上野成久 9月16日 手賀沼 飯泉仁、関忠夫

1974(昭和49年)10月10日 手賀沼 中迪子 11月10日 手賀沼 三神鶴吉・淑子

12月8日 印旛沼 志賀鉄雄、川村健治

1975(昭和50年)1月26日 手賀沼 吉田孝久 2月23日 手賀沼 樫村大助、4月27日 手賀沼 小瀬木かつ子、

1976(昭和51年)3月28日 古利根 木村稔 4月11日 手賀沼 伊藤哲夫、三谷和夫

6月13日 笹川 木村正子

7月11日 手賀沼 佐久間俊行

7月25日 布施弁天 天野龍舟

9月26日 小櫃川 坂巻道代・坂巻宗男

1977(昭和52年)4月24日 手賀沼 松本克博 10月10日 谷津干潟 小野勝義

10月30日 手賀沼 庄崎富佐子

1978(昭和53年)1月2日 手賀沼 千葉一也 7月9日 手賀沼 西城猛

12月24日 赤尾完

1979(昭和54年)5月13日 野外観察 島崎純造 8月26日 秋ヶ瀬 滝田ひなよ

9月23日 秋の野草を探す会 鳥越光世 1980(昭和55年)2月17日 菅生沼 橋正義

3月16日 谷津干潟・東京港 赤尾弥生

9月23日 小櫃川 柴田祐一

11月30日 手賀沼 大久保利一

1981(昭和56年)4月26日 手賀沼 鈴木五郎

8月16日 相模川河口 首藤美恵子

9月15日 手賀沼 寺田義雄

10月8日 手賀沼 柴田五郎

10月25日 高麗川 首藤佑吉、篠山久美子

(現在は飯泉)

出典は昭和49年10月以前の「我孫子野鳥を守る会月報」とそれ以降の会報「ほーほーどり」より

## 平成13年度の会費払込について

会計幹事 田丸喜昭

前号の記事の間違いで、多数の方々にご迷惑をお掛けしました。平成13年度の年会費は一般¥2,000(大学生・高校生¥1,000、中学生以下¥500)です。払い込み用の郵便振替用紙を同封致しましたので、早期のお振込みをお願いいたします。なお、下記の方々には昨年中に13年度の会費をすでに納付して頂いております。(敬称略)大川昭二、吉田孝久、山野辺伸作。また、前号の記事で13年度分会費をすでに振り込まれた方は、同封の振替用紙で重複した振込みをなさらないよう、ご注意ください。

## 「鳥だよりイヤーブック2000」ができました

赤尾 完

2000年の鳥だよりを氏名別に集計したものを希望者に実費でおわけします。

印刷物は 手渡し200円 郵送400円

フロッピーは 手渡し 無料 郵送100円

の見込みです。

希望者は下記へ電子メール、電話、ハガキなどでお申し込み下さい。

電子メール [akahara-t@nifty.com](mailto:akahara-t@nifty.com)

電話 0471-88-8494

住所 〒270-1132 我孫子市湖北台5-10-3

担当 赤尾 完

## 柴田五郎氏のご意見について

会報 No159 に掲載された会員名簿についての

ご意見に、幹事会として次のようにご説明します。  
過去2回総会で会員名簿発行と配布が論議されましたが、プライバシー保護の観点からいずれも否決されています。

私達は、会員の皆様に会の探鳥会やその他の行事に積極的に参加していただけるように心がけ、行事の数や内容は、この種の団体としては極めて多彩で豊富であると自負しています。

探鳥会などでの行事の参加者は、会が用意した名札を付け、参加者が相互にコミュニケーションをとる上でも大いに役立っております。それぞれの行事にご参加いただきますと、新しい会員から古参の会員まで、いつでも和気あいあいとした、会員間の一体感が自然とকাশ出されていることがお判りいただけるかと存じます。また各々の行事への参加者の名前も会報に掲載されています。

一方世間では、迷惑な電話や不要なダイレクトメール等が送られた、プライバシーの保護が大きな社会問題となっている現状です。

当会では、会員相互のコミュニケーションが直接顔を合わせることで出来ており、多額の費用と手数をかけて、会員名簿の配布を行なう必要性はないと考えます。会員各位におかれまして、この点をご了承いただきたく存じます。

この場をお借りして今後も会員の皆様が、会の行事に積極的にご参加いただき、会の活動や会報の発行が会員自身の手で、より一層活発になるよう御協力をお願いする次第です。

幹事一同

## “鳥だより”

- 1.01[久寺家]クサシギ (1) 排水路で採餌
- 1.04[北新田]ノスリ (1) 物色飛翔
- 1.09[北新田]コハチヨウ sp (4) 幼鳥上空を南へ飛翔
- 1.09[北新田]ジョウゲンボウ (1) 西へ飛翔
- 1.12[北新田]チュウビ (2) 物色飛翔
- 1.14[北新田]コハチヨウ(4)幼鳥稲刈後で休息 1/20迄観察
- 1.17[北新田]2号排水路]イナドリ(1)採餌
- 1.17[北新田]オカチヨウ(1)稲の2番穂採餌 1/20迄観察
- 1.18[北新田]ハニマコ♀(1)葦原で採餌
- 1.18[北新田]カサギ (5)排水路で採餌 中野久夫
- 1.21[柏下]ノスリ帆翔 志賀鉄雄
- 1.21[古戸地先利根川河川敷]ノスリ(2)居着いている様子 松田幸保
- 1.23[鷺野谷新田]ジョウゲンボウ電線に 志賀鉄雄
- 1.24[北新田]コハチヨウ(20+)鳴きながら編隊で飛来

- し利根川に降りた 岡本信夫
- 1.24[箕輪新田]ジョウゲンボウ(1)ハリング
- 1.24[下沼]トモガモ(10)
- 1.24[下沼]ノスリ杭に 志賀鉄雄
- 1.24[古戸地先利根川河川敷]ノスリ (3) 松田幸保
- 1.25[つくし野]コハチヨウ(6)灰色 並木小学校上空を2群で北東へ飛翔 鳥博 時田賢一
- 1.25[我孫子市役所]コハチヨウ SP(47)市役所上空を2群で北に飛翔 鳥研 百瀬邦和
- 1.27[北新田]オカチヨウ SP(3)亜種オカチヨウ 雪の降る中で観察 鳥博 時田賢一
- 1.28[豊四季]ウグイス初鳴き (鳥だよりの対象エリア内)
- 1.28[下沼]チュウビ(1)大雪の翌日晴天に
- 1.28[下沼]トモガモ♀♀(12)♂♀♀♀ 大雪の翌日晴天に 飯泉 仁・久美子
- 1.30[下沼]トモガモ(10)
- 1.30[下沼]オカチヨウ(1) 志賀鉄雄
- 1.31[北新田]チュウビ(1)物色飛翔
- 1.31[北新田]ジョウゲンボウ(2)物色飛翔
- 1.31[北新田]ノスリ(1)ガラスに絡まれ飛去 中野久夫
- 1.31[大井新田]ノスリがガラス(2)にモビングされ北へ飛ぶ 志賀鉄雄
- 2.01[つくし野]カサギ (1)排水路で採餌 中野久夫
- 2.03[大井新田]ジョウゲンボウ(1)ホバリング 志賀鉄雄
- 2.04[北新田]オカチ(1)
- 2.04[北新田]コハチヨウ(1)
- 2.04[北新田]チュウビ (2)
- 2.04[北新田]ジョウゲンボウ(1)
- 2.04[北新田]ノスリ(3) 鳥博 時田賢一
- 2.05[古戸]ウグイス地鳴き 諏訪哲夫
- 2.06[大井新田]ジョウゲンボウ(1)ハリング
- 2.06[大井新田]ノスリ北へ飛ぶ
- 2.08[下沼]トモガモ(5) 志賀鉄雄
- 2.08[豊四季]ヒトリ(30+)雑木林の檜の木で鳴き交わす
- 2.09[豊四季]ヒトリ(60)11:00 雑木林で鳴き交わす 飯泉久美子
- 2.09[布瀬新田]ノスリ(2)電柱と低木に各々1 志賀鉄雄
- 2.10[柏下ふるさと公園]アトリ♂(1) 間野吉幸
- 2.11[下沼]トモガモ(7)
- 2.11[下沼]オカチヨウ (1) 志賀鉄雄
- 2.12[高野山新田]オカチ(1)北から手賀沼方向に飛翔 首藤佑吉
- 2.12[若松地先上沼葦原]ウグイス(1)白化固体 頭部から肩にかけてと腰部が白色 首藤美恵子
- 2.12[根戸]ハニマコ♀♀(2)♂♀1 鳥越光世
- 2.12[豊四季]ヒトリ(40+)雑木林で鳴き交わす

- 飯泉 仁・久美子
- 2.13[根戸]アサ(1)滝木に止まっていたが茂みに隠れた 鳥越 治
- 2.13[岩井新田] ヲウガノボウハリンガ
- 2.14[大井香取神社] フクウ 18:14 声 志賀鉄雄
- 2.17[北新田]フウ(1)
- 2.17[北新田]ヲウガノボウ(2)
- 2.17[北新田]ハイロチュウ(1)
- 2.17[北新田]ノリ(4) 鳥博 時田賢一
- 2.17[下沼]トモガモ(5)
- 2.17[根戸]フクウ 11:30 林の中を飛ぶ 志賀鉄雄
- 2.17[古利根公園自然観察の森]ヤマガラ(2) 島崎純造
- 2.18[北新田]ヘニマコ♀(1)葦原で採餌
- 2.20[北新田]ヲハヤサ(1)電柱上
- 2.20[北新田]ノリ(2)上空で帆翔
- 2.20[北新田]ハイロチュウ♀(1)葦原上を飛翔
- 2.20[弁天下]ヲシヅ(9)2号排水路で採餌 中野久夫
- 2.21[岡発戸谷津]オセカ SP セカより一回り大きく尾が長い オセカ、マシシユウ、ヲカセカいずれとも同定できず 鳥博 時田賢一
- 2.27[大井新田地先下沼]ウグイス葦原の中で鳴く 志賀鉄雄
- 2.27[北新田]ヲカ(1)葦原の柳上 中野久夫
- 3.02[片山新田]ヲウガノボウ田上を低く飛ぶ 志賀鉄雄
- 3.03[下沼]トモガモ♀(6)3組のつがい休息
- 3.03[泉村新田地先下沼葦原]ヒバリ囀り
- 3.03[泉村新田地先下沼葦原]ヲカ(1) 田丸喜昭
- 3.03[中原]マヒ(2) 飯泉 仁・久美子
- 3.12[本町3イノカ堂]イビトドリ(1)南側壁面で囀る 平岡 考
- 3.15[柏2イノカ堂]ヲウガノボウイトノカ堂周辺を探索していた 飯泉 仁・久美子
- 3.19[天王台4]コバノ樹木の新芽を啄んでいた 鳥博 時田賢一

### 今回の観察者の投稿件数

赤尾 完	10	飯島 博	1
赤尾弥生	2	岡本信夫	3
飯泉 仁・久美子	54	工藤泰江	1
飯泉久美子	4	島崎純造	1
志賀鉄雄	79	首藤美恵子	1
首藤佑吉	4	諏訪哲夫	7
諏訪哲夫	7	田丸喜昭	8
鳥越 治	1	中野久夫	45
鳥越光世	1	平岡 考	1
西巻 実	16	松田幸保	5
間野吉幸	27	向井幸雄	1
立川節子	1	鳥博 時田賢一	17
鳥研 百瀬邦和	1		
計		293 件	

### \*感謝

会計幹事 田丸喜昭

会員の中野久夫さん、梅村康之さんよりご寄付を頂きました。厚く御礼申し上げます。

### ◎小林節子さんが退職されました

初代会長渡辺義雄さんの頃から我孫子野鳥を守る会と関わって頂いた、小林節子さん(工学博士・千葉県水質保全研究所、印旛沼・手賀沼浄化研究室長)が退職されました。県内の水環境の調査に永年携わり、手賀沼の水質調査でも貴重な資料を提供されています。最近では岡発戸新田地地区エコアップ懇談会委員長として活躍されていました。

この度、退職のご挨拶とご寄付をいただきました。重ねて御礼申し上げます。

### 我孫子野鳥を守る会

発行人 木村 稔 〒270-1152 我孫子市寿 1-21-35 TEL 0471-82-7958  
 編集人 梅村康之 〒270-1154 我孫子市白山 1-23-15 TEL 0471-82-0625  
 事務局 島崎純造 〒270-1121 我孫子市中峠 3759-5 TEL 0471-87-2222  
 振替 00140-2-51628 我孫子野鳥を守る会  
 会費 年額 2,000 円 (大学生・高校生・1,000 円、中学生以下 500 円、家族は無料)

寄 贈

